

市の将来都市像
多摩丘陵にはばたく
市民文化都市

白洲次郎・正子旧宅が 町田市指定史跡に指定されました



町田市指定史跡に指定された白洲次郎・正子旧宅(上・下)

11月8日に開催された町田市定例教育委員会で、白洲次郎・正子旧宅が町田市指定史跡に指定されました。現在、旧宅は「旧白洲邸武相荘」として、夫妻の生活していた当時のまま、インテリアや家具・骨董品などが展示され、平成13年10月にオープンして以来、多くの見学者が訪れています。また、敷地内の庭園には、雑木林・竹林・山野草が植えられ、夫妻の趣向が十分に反映された空間になっています。



白洲次郎・正子旧宅は、夫妻が1940年(昭和15年)にこの土地と茅葺きの民家を購入し、1942年(昭和17年)に移り住みました。白洲次郎は、竹やぶで竹を刈って作業場で家具や道具を作りながら農作業に精を出し、自らを「カントリー・ジェントルマン」と称していました。これは、地方に住み農業に従事しながら、中央の政治に目を光らせており、いざというときは中央に出ていき、彼らの姿勢を正すというイギリスの紳士を指していると思われます。一方、正子も農作業を行いなから、読書、執筆活動が続けました。正子の随筆には、鶴川村やそ

町田に静かな空を返せ！
厚木基地騒音対策協議会に
寺田市長がオブザーバーとして参加

厚木基地騒音対策協議会総会が11月7日に開催され、寺田市長がオブザーバーとして参加することが承認されました。これを受けて、席上、寺田市長は、神奈川県及び周辺自治体とさらに連携して、米軍や日本政府に米軍機による騒音問題を訴えていきたいと述べました。

厚木基地騒音対策協議会は、厚木基地における米軍機の夜間連続離着陸訓練等による航空機騒音に関し、神奈川県及び厚木基地周辺7市(横浜市、藤沢市、相模原市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市)の行政及び議会関係者が相互の連絡、協調を密にして、騒音問題の解消に向けて実効性ある運動を進めるために設置された組織で、米軍や日本政府への要請行動等を行ってきています。町田市はこれまで、厚木基地周辺7市との連絡会議に参加して情報交換を行い、米軍や日本政府への要請行動をとるも行ってきましたが、より一層連携を密にし、騒音被害地域の広がりをさらに強く訴えるために、かねてから同協議会への参加を要請していたものです。



席上、あいさつする寺田市長

太陽と緑のまつり・農業祭 8500人の人出で盛況でした



地元町田でとれた野菜や植木の品評会、直売を行う「太陽と緑のまつり・農業祭」が11月24日、野津田公園で行われました。今年の野菜・植木の品評会では、木曾町の石川雅千さんが出品したフロッキーと木曾町の浅沼稲次郎さんが出品した本漬が最優秀賞に輝きました。

野菜や卵、シイタケ等の直売も地元のみずみずしい新鮮さが受けて売り上げも上々。また、和太鼓、祭ばやし、バンド等のコンサートやミニSSL、子どもアスレチック、模擬店等もあり、親子連れなど8500人の人出で大盛況でした。

技能功労者・永年勤続 従業員を表彰

市と町田市商工会議所では、平成14年度の技能功労者と永年勤続従業員の表彰式を11月13日、町田市民フォーラムで行い、その功績をたたえました。

技能功労者は、永く同一の職業に従事し、技能及び技術の鍛練ならびに後進の指導育成にあたり、市民生活の向上、産業の

振興に顕著な功績を収めている技能者の方が対象。今年表彰された方は35人です。

永年勤続従業員は、市内の同一中小企業に永年にわたり勤務している方が対象です。今年表彰された方は6人、20年以上が36人、10年以上が74人、合計116人が表彰されました。

永年の功績をたたえて

- 技能功労者は次の方々です(順不同、敬称略)。
- 【町田市生花商組合】福地京子 久保田寛【東京都自転車商協同組合町田支部】秋生田勲【建設工二オン】菊地善太郎【東京都理容生活衛生同業組合】石井伸一 福田辰夫【町田市視覚障害者協会】山崎直子 小峰和子 谷合長次【町田美容組合】佐藤トキ子 日比野瑠璃子【町田電気工事協同組合】前田春男 坂田寿 佐々木耕助【町田豆腐組合】宮川政光【込山広子・和裁】石山きよ子【東京土建一般労働組合町田支部】齋藤勝忠 佐藤清光 藤本秋治 池ノ谷光 義 伊藤利造 鹿野良男 松浦明 丹俊三 樋口勝芳 菅野秋夫 鈴木庸泰 松本三郎 熊田祐己 今井昭 佐々木善明 加倉井操 遠田昇 椎林往雄 農海孝雄